



「流域連携の川づくりとは」一緒に考えませんか？

シンポジウム 足羽川の未来を語る

私たちの川を守り、育てる上で重要なキーワードがあります。それは「流域連携」。
流域連携による取り組みとはどのようなものか、そしてどのような意義があるのでしょうか。
池田町に源を発し県都・福井市を流れる足羽川をテーマに、一緒に学び、考えてみませんか？

2008年

日時

3月9日(日) 13:00開演
(12:30開場/16:20終了予定)

場所

福井市フェニックス・プラザ 小ホール
(隣接の立体駐車場をご利用ください。受付で無料券をお渡しします)

プログラム

- 12:30 開場
13:00 開演
主催者挨拶
- 13:05 活動事例発表 堀口 岩男氏 (環境パートナー池田副理事長)
有塚 達郎氏 (ドラゴンリバー交流会理事長)
- 13:45 基調講演「鶴見川の流域連携ネットワークの歴史」
講師：岸 由二氏
(慶応大学教授・鶴見川流域ネットワーク代表理事)
- 14:45 休憩
14:50 パネルディスカッション
パネリスト： 岸 由二氏 (慶応大教授・鶴見川流域ネットワーク代表理事)
水上 聡子氏 (まちづくりプランナー)
堀口 岩男氏 (環境パートナー池田副理事長)
有塚 達郎氏 (ドラゴンリバー交流会理事長)
コーディネーター：山下 裕己 (福井新聞社論説副委員長)

参加無料

参加者全員に
足羽川流域の特産品をプレゼント!

定員 250人

定員に達し次第締め切ります。

Profile

基調講演



かし ゆうじ

岸 由二 氏（慶応大学教授・鶴見川流域ネットワーク代表理事）

1947年、目黒川流域生まれ、鶴見川流域育ち。横浜市大、東京都立大大学院を経て、76年慶應義塾大学経済学部助手。91年より同教授。理学博士。流域や丘陵の広がりを基礎とした都市再生のための理論的・実践的な研究を推進中。NPO法人鶴見川流域ネットワーク、連携・鶴見川流域ネットワーク代表。著書に『自然へのまなざし』紀伊国屋書店、『リバーネーム』リトル・モア、『流域圏プランニングの時代』（共編著）技報堂出版など。国土交通省河川分科会、東京都環境審議会等、委員。

パネルディスカッション



◆パネリスト

みずかみ さとこ

水上 聡子 氏（まちづくりプランナー）

1987年、津田塾大学国際関係学科卒業（開発社会学）。市民一人一人が、まちを感じ、まちづくりに携わろうという気持ちを育むことを目指して、都市計画、環境、福祉、教育、男女共同参画など多様な分野における計画作り、老若幅広い層を対象にしたワークショップの企画運営を行う。現在、「シティズンシップ教育」をテーマにフィンランドメソッド等を共同研究中。



◆パネリスト

ほりぐち いわお

堀口 岩男 氏（環境パートナー池田副理事長）

1999年、池田町のまちづくりグループ「まちおこし21」を仲間と共に設立。2003年、環境パートナー池田設立と同時に副理事長に就任。足羽川の水源地である池田町において、まち全体の環境向上と地域活性化を目指して活動。「川クリーン大作戦」や水質調査など、水環境問題について官民一体となって取り組むほかエコキャンドル・環境集会などのイベント活動も幅広く展開している。



◆パネリスト

ありつか たつろう

有塚 達郎氏 氏（ドラゴンリバー交流会理事長）

金沢大学法文学部法律科卒。1957年、郵政省入省。2001年、旧美山町長に初当選し、06年に同町が福井市との合併となるまで町長を務める。町長在任中の04年に福井豪雨が発生。甚大な被害に見舞われた中、町長として陣頭に立ち復旧に取り組んだ。町長退任後の06年、ドラゴンリバー交流会の理事長に就任。九頭竜川水系の水環境の保全に取り組んでいる。

申し込み・問い合わせ

郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記し、はがき、ファクスまたはEメールでお申し込みください。追って聴講券を発送します。 ※応募者の個人情報は「聴講券」の発送目的にのみ使用します。

【はがき】〒910-8552 福井市大和田町56 福井新聞社広告局開発部「足羽川シンポ」係へ
電話 / 0776(57)5152

【ファクス】 **FAX** 0776-57-5166 【Eメール】 **✉ asuwagawa@fukuishimbun.co.jp**

足羽川シンポジウム参加申込書

氏名	住所	年齢	電話番号
	(〒 -)	歳	
	(〒 -)	歳	
	(〒 -)	歳	